

研究構想シート		学校名	吉賀町立 柿木小学校	
		氏名	伏谷 亜由美	
A 研究主題 『自分の役割を見つけ取り組む児童の育成』 ～自他の大切さを認め合う集団づくりをとおして～				
B 研究の目的 他者と関わる中で、児童自らが「自分に何ができるか」を考え、実行していく中で、人から認められる良さを実感させ、自己有用感や自己肯定感を高められるようにする。				
<p>C 子どもの実態</p> <p>○明るく素直で、学習活動や決められたことに真面目に取り組むことができる。</p> <p>●様々な活動場面において、失敗や間違いを恐れ、他者と異なる意見を発表することをためらう姿が見られる。</p> <p>主体性に関わるアンケート「今、どんな自分かな」 Q「自分で決めず、『なんでもいい。』と言ったり思ったりすることがある」 A「とでもある」「ある」 R3→53% R4→62% R5→42%（研究1年次2月） R3・4年度の結果は、「なんでもいい」と答える子が多かった。少人数の固定化された人間関係の中で、互いの考えを出し合い高め合うことより、意見の対立により居心地が悪くなることを避けようとしているためではないかと推察される。また、日頃交流する人数の絶対的少なさにより、多様な価値観や生き方に触れる機会が少ないことや、異なる意見の交流から新しい価値観を見出す経験が不足していることも一因であると考えられる。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>○自分の役割を主体的に考え取り組む力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の役割について考え取り組む場を設定し、他者から肯定的に評価される機会を増やせば、集団や社会の中で主体的に自分の役割を見つけようとする力が育つであろう。 <p>→児童会活動、異学年プロジェクト他</p> <p>○自他の大切さを認め合う集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な人との出会い（交流・教材・読書等）を通して、自他の良さを認め、互いに協働しようとする力が育つであろう。 <p>→異学年交流、地域ボランティアの活用、読書推進 →「柿木小教職員が日々大切にしていること」をもとにした関わり</p>	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>○自分の役割を主体的に考え取り組む児童</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを持つ。 （自分の立場を考えて）自分の役割を見つけ、行動する。 自分に自信を持つ。 <p>○自分や人の良さを認め、互いに協働しようとする児童</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して自分の思いを伝えられる。（日々のコミュニケーション・活動後のフィードバック） 		
		<p>F 検証方法</p> <p>○主体性に関わるアンケート「今、どんな自分かな？」（5月・9月・12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> Q「自分で決めず、『なんでもいい。』と言ったり思ったりすることがある」の回答の推移 自他の人権に関わる設問についての回答の推移 <p>○生活・友だちアンケート（5月・10月・2月）</p> <p>○活動後の児童・教職員のフィードバック</p> <p>○研修職員会での「児童の姿」分析</p>	<p>G 研究計画</p> <p>5月：主体性に関わるアンケート①「今、どんな自分かな？」 生活・友だちアンケート①</p> <p>6月：研究授業の指導案がんばり月間（7月末には発送） 柿木小人権リーフレット作成 R5研究パワーポイント作成</p> <p>8月7日：島根県人権・同和教育研究大会（雲南大会）</p> <p>9月：アンケート②</p> <p>9月9日：学習公開（ミニ訪問指導）</p> <p>10月2日：人権教育研究発表会（本校）学習公開「特活(1)」</p> <p>12月：研究まとめ</p>	